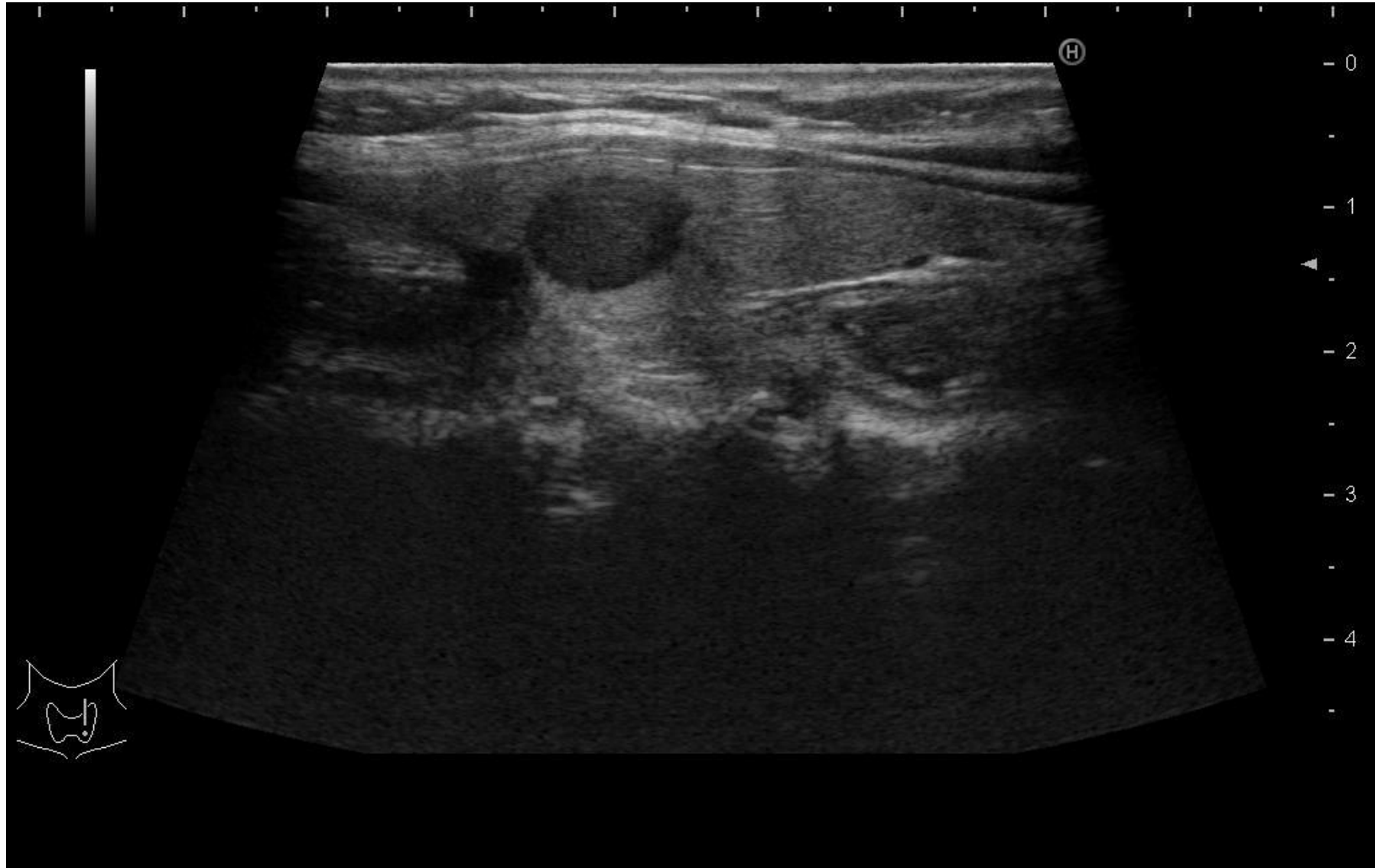


# 那覇市立病院

## 症例番号2

- 1、採取検体  
左甲状腺
- 2、年齢・性別  
50歳代 女性
- 3、臨床経過  
左葉に1.2cm大の腫瘤。
- 4、標本作製方法  
甲状腺穿刺吸引細胞診



**超音波検査**

# 画像診断

## 【 所見 】

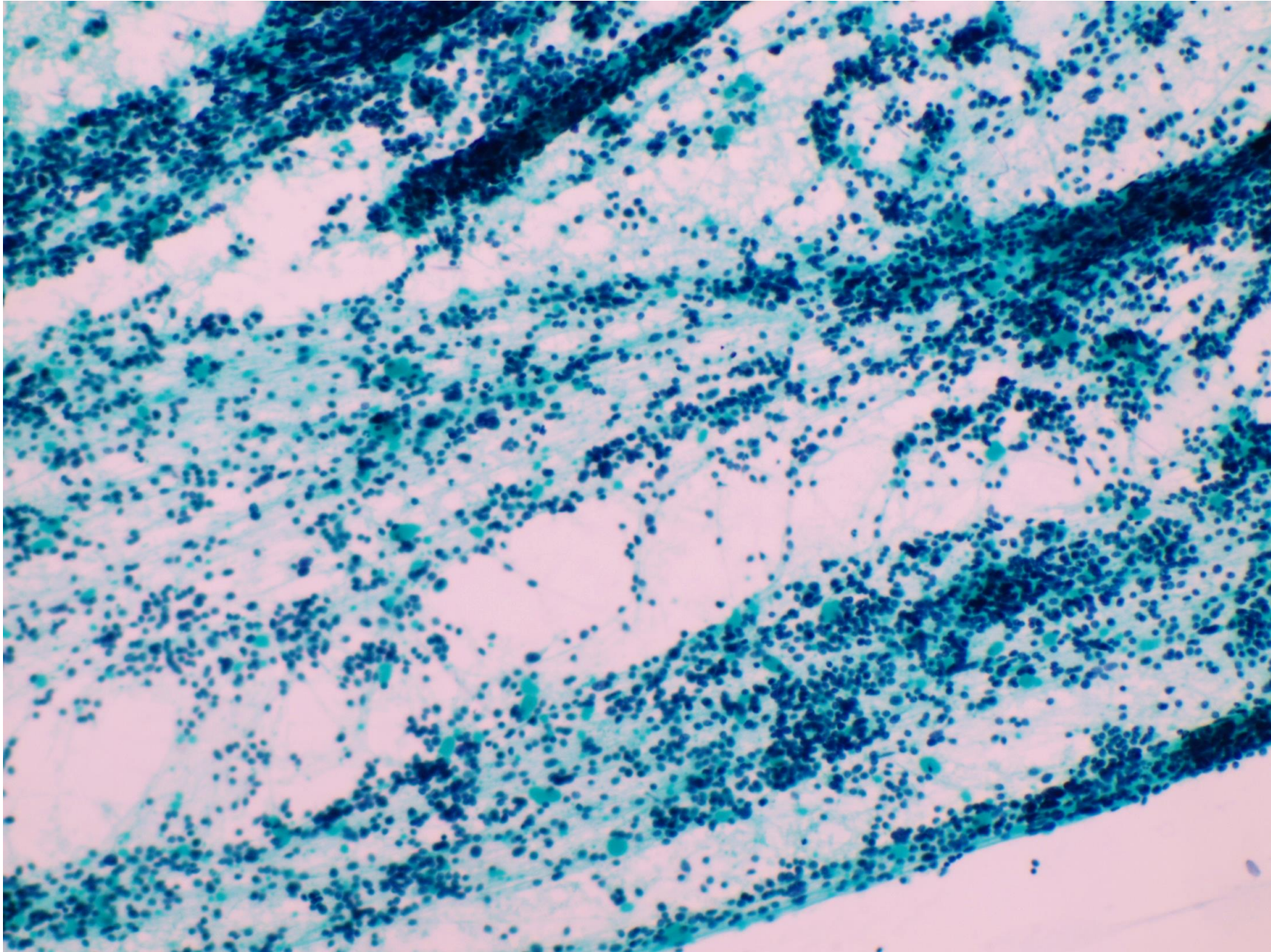
峡部;腫大(-) 右葉;腫大(-) mass(-) 血流亢進(-)

左葉;低エコー腫瘤を上極寄りに認めます。12\*8mm 境界明瞭 円形

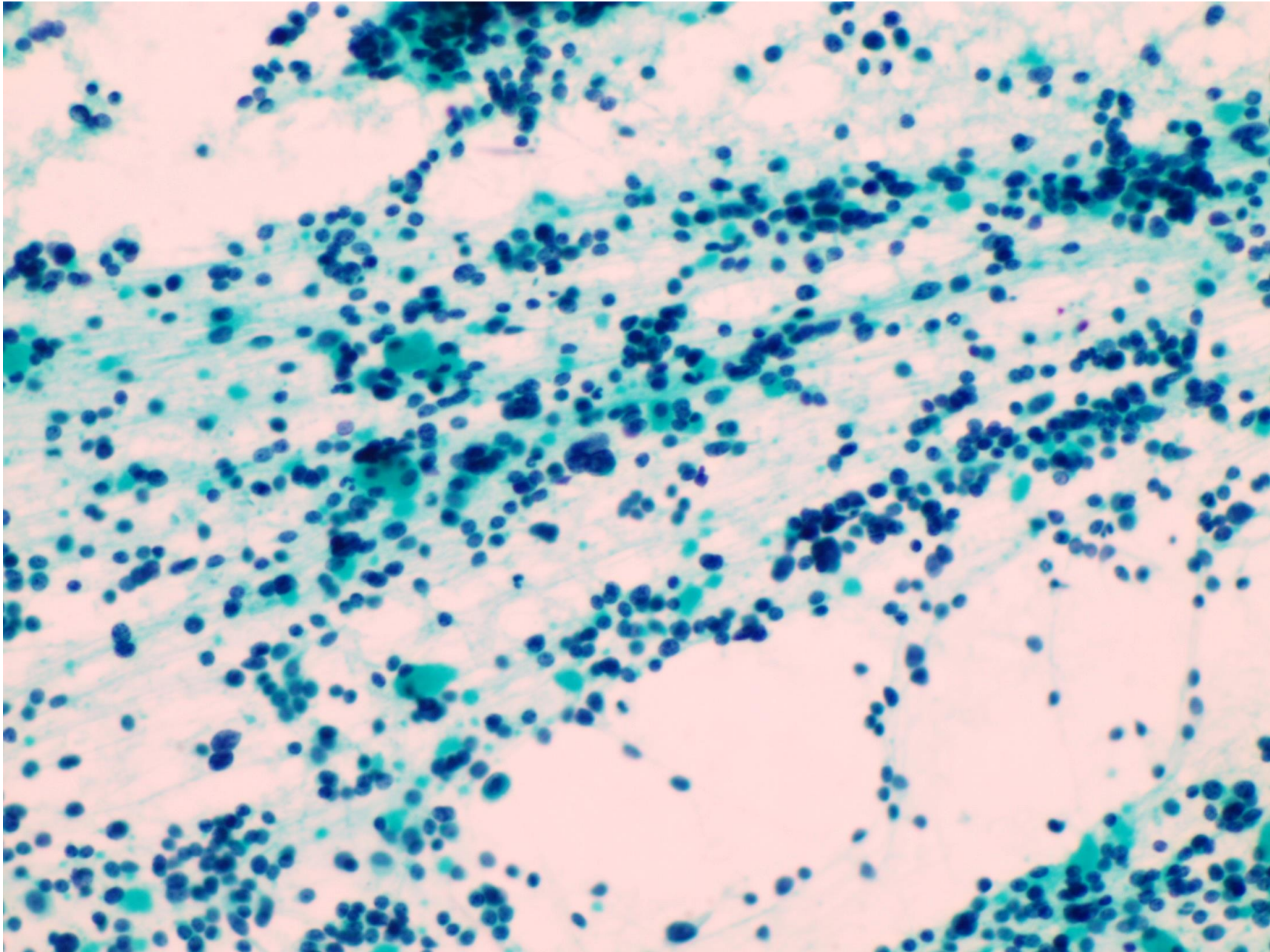
被膜様低エコー帯(+) 一部に被膜外に突出する低エコー部(+)

Follicular adenocarcinoma 疑い 血流はmass内に流入(+)

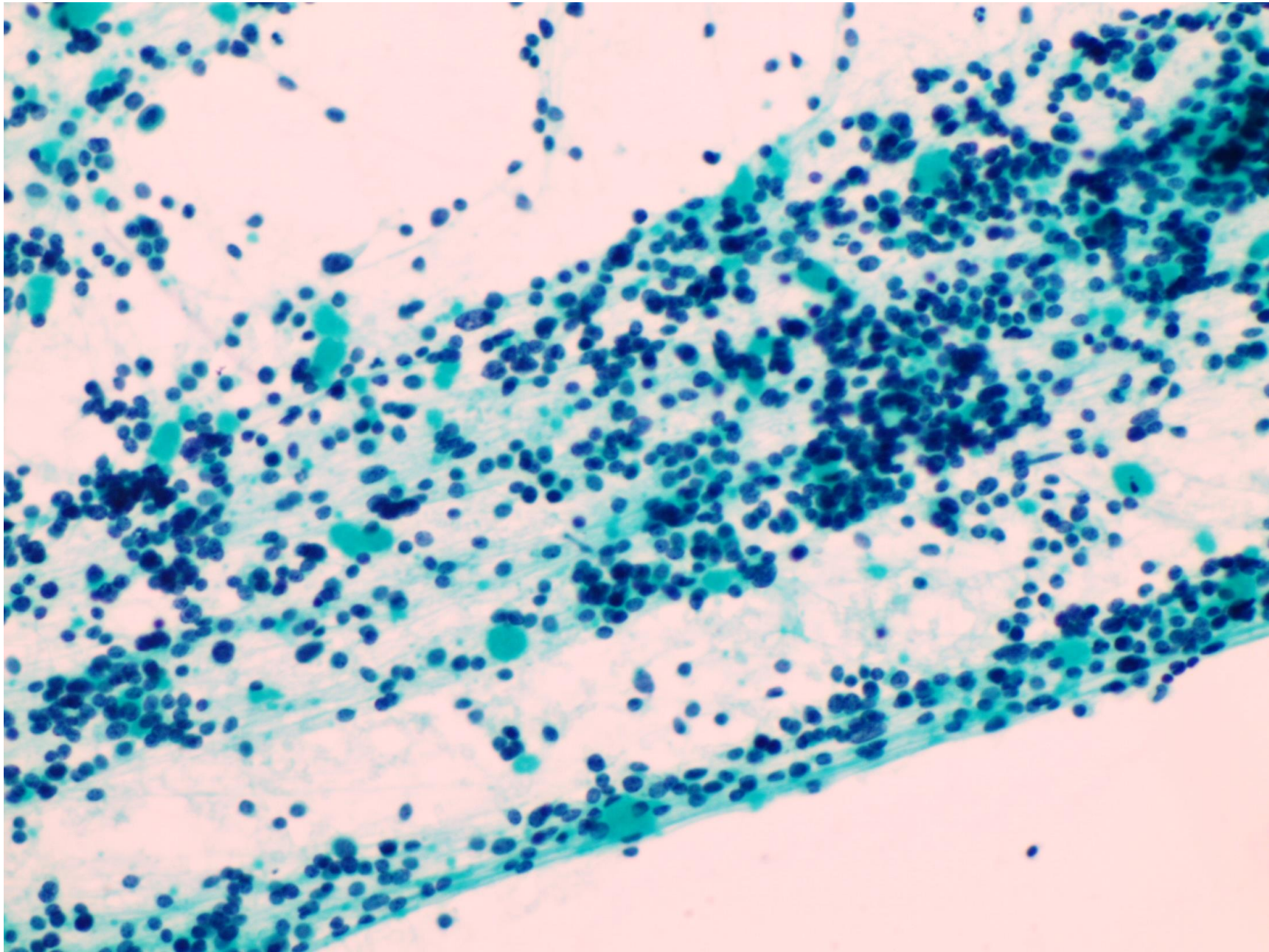
気管、筋層との境界明瞭 嚥下による可動性良好 両側頸部リンパ節腫大(-)



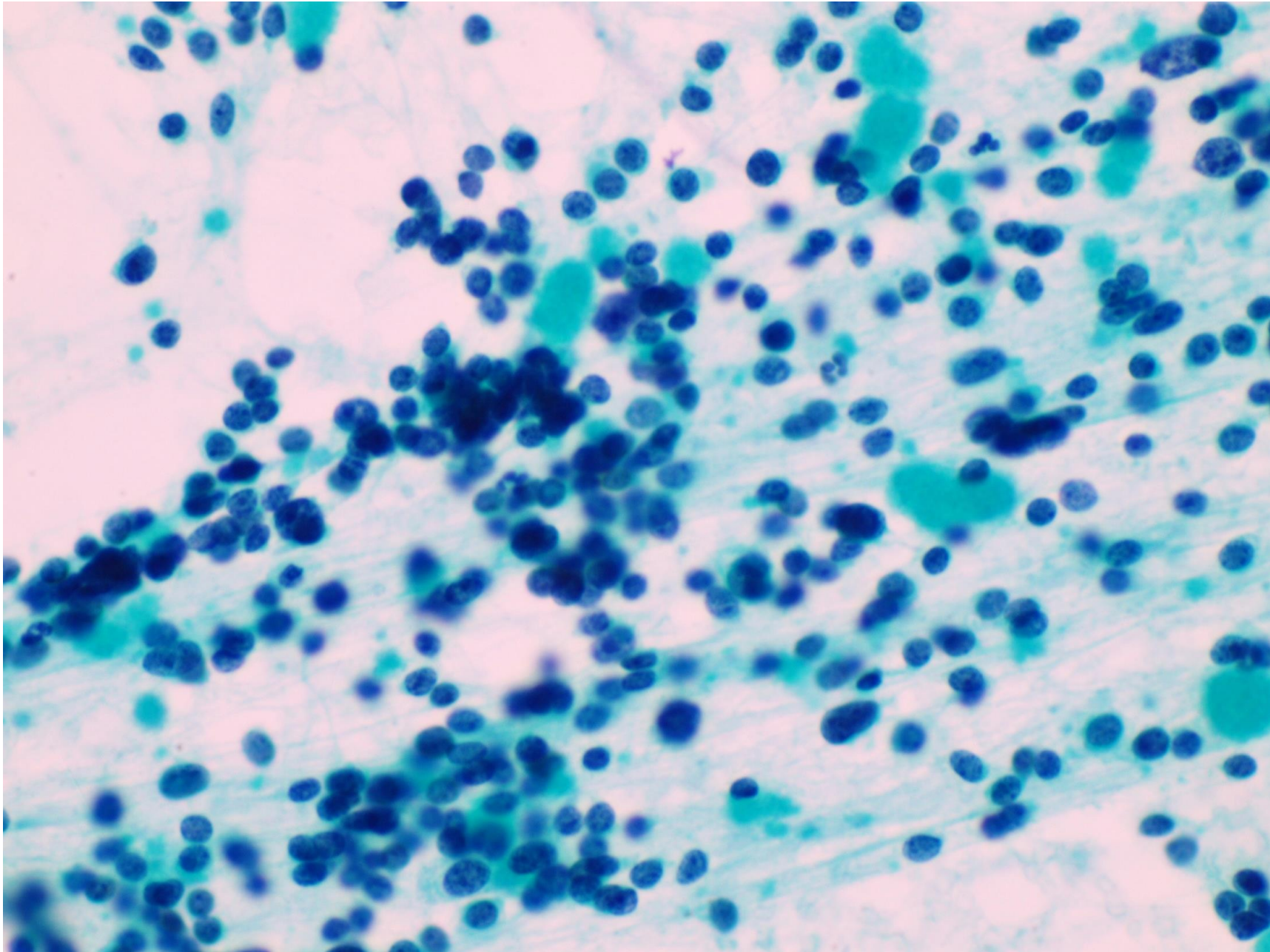
**Pap stain**  
**× 10**



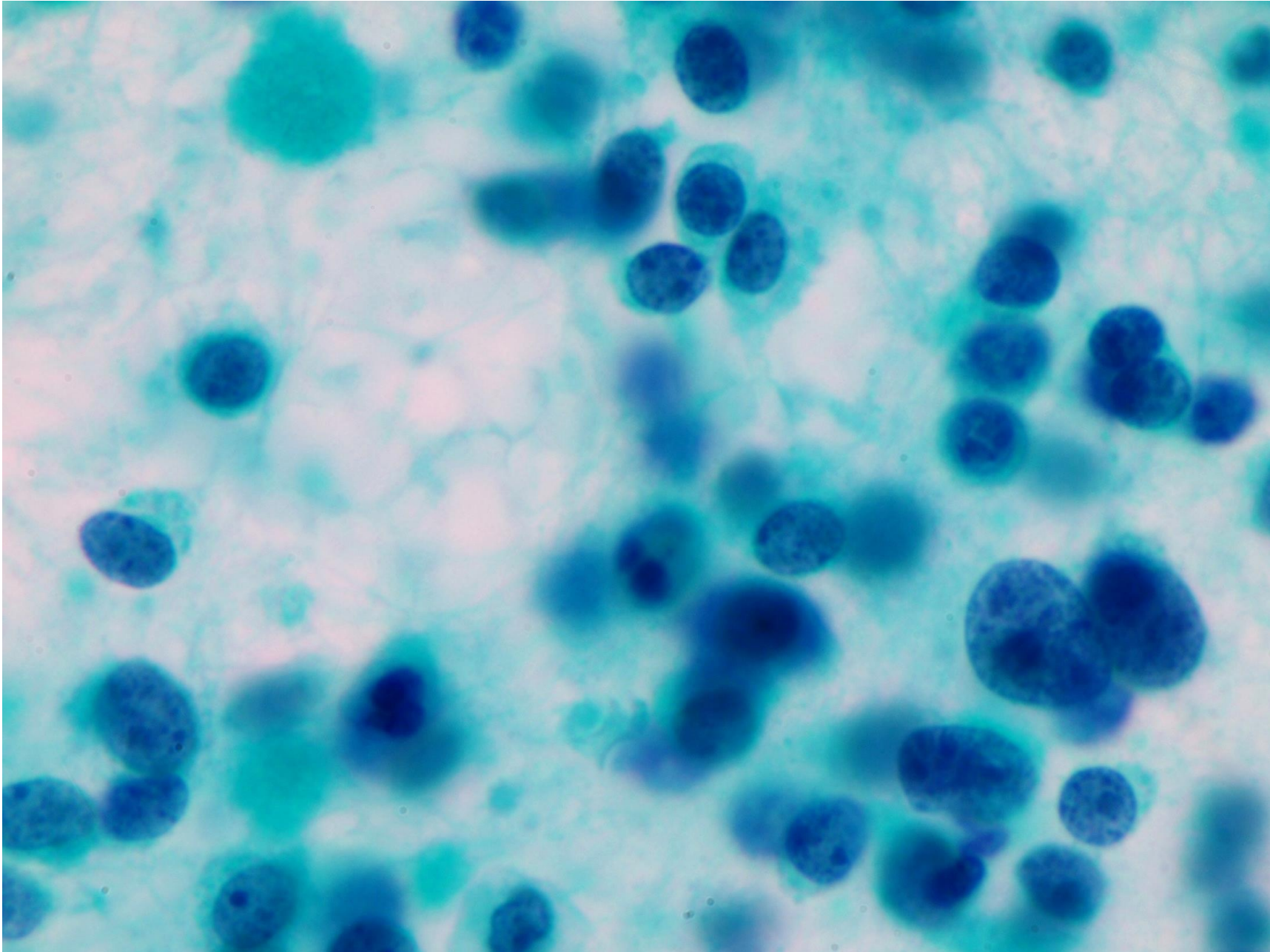
**Pap stain  
× 20**



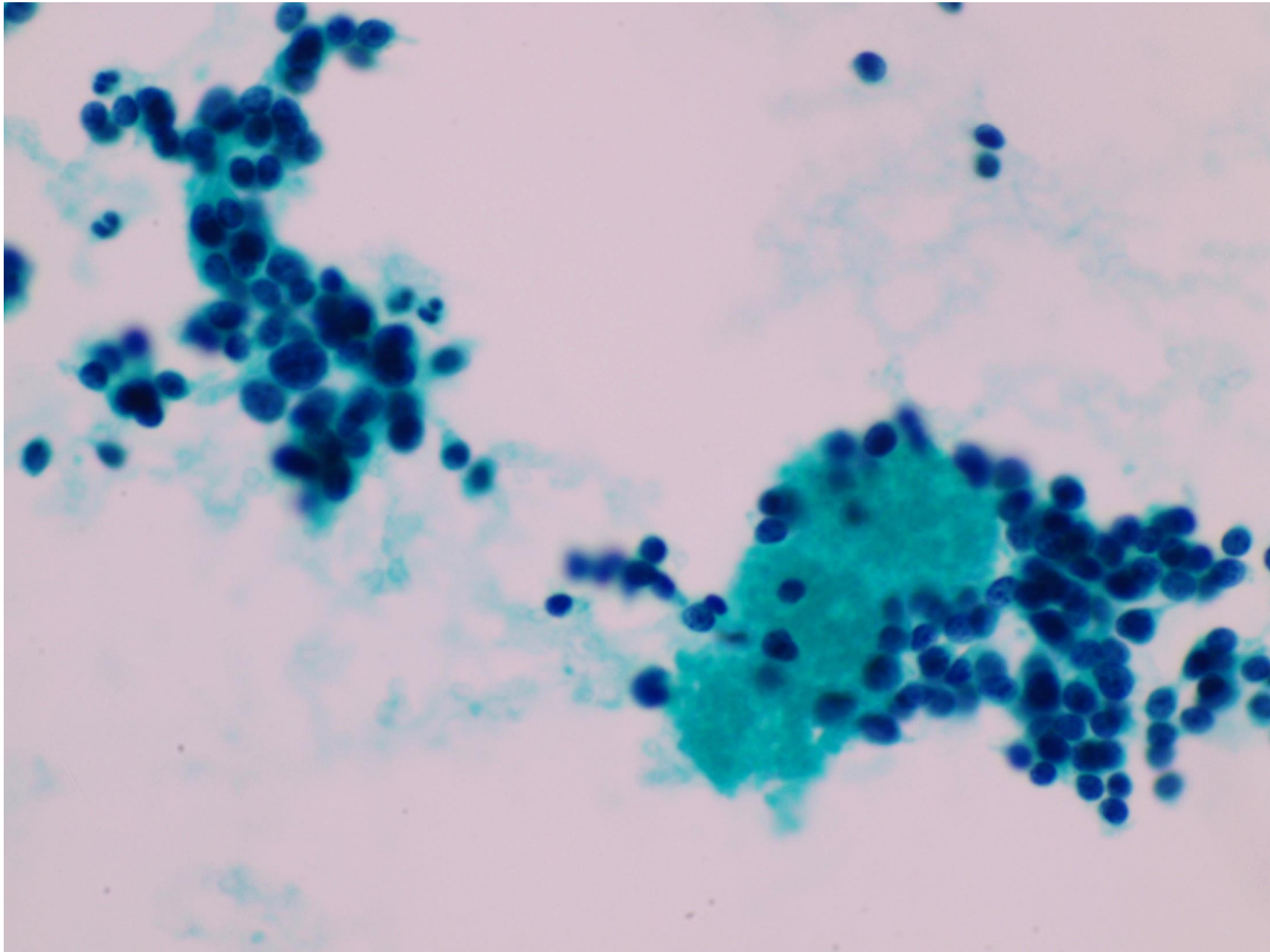
**Pap stain  
× 20**



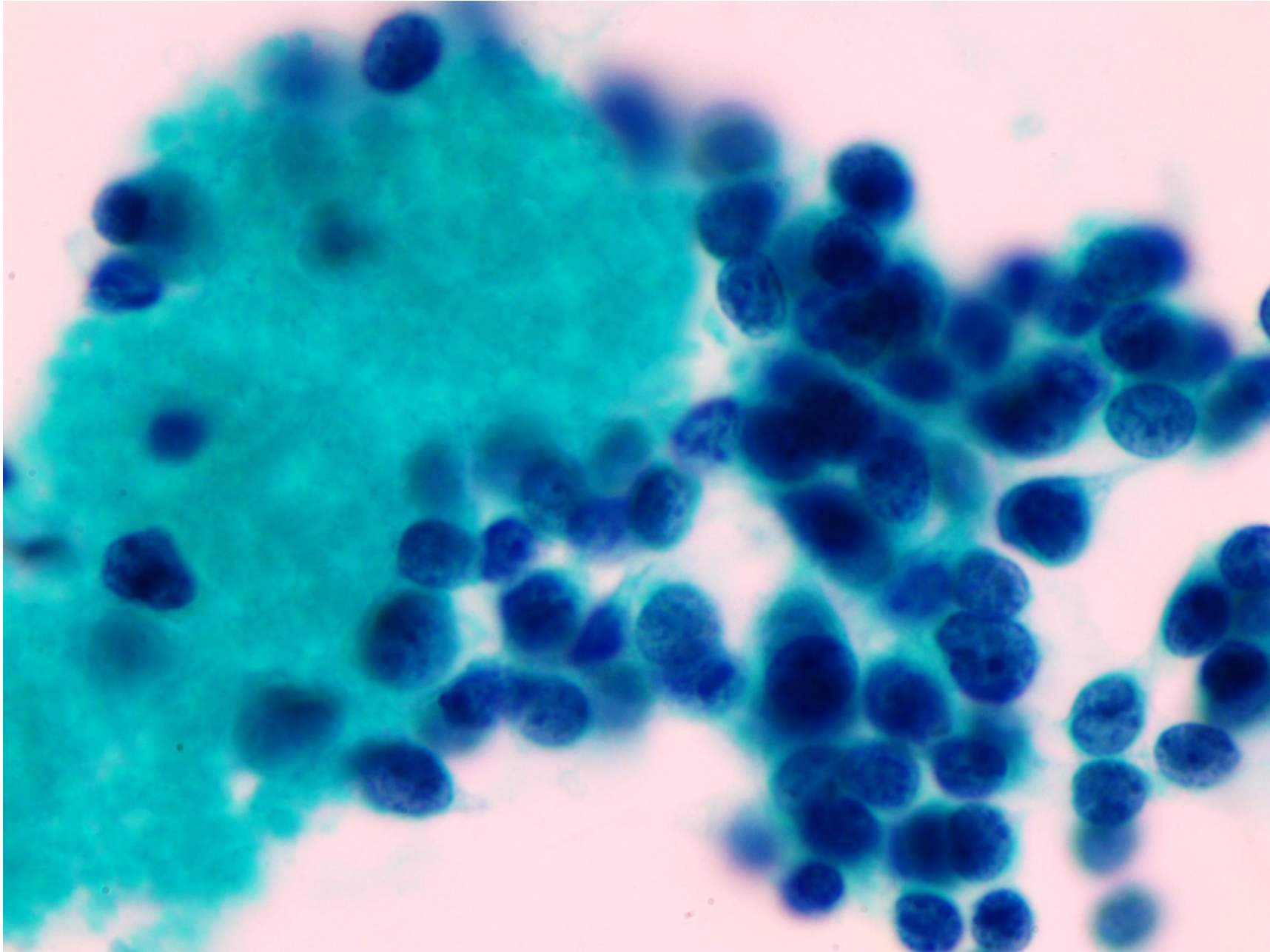
**Pap stain  
× 40**



**Pap stain  
× 100**



**Pap stain  
× 40**

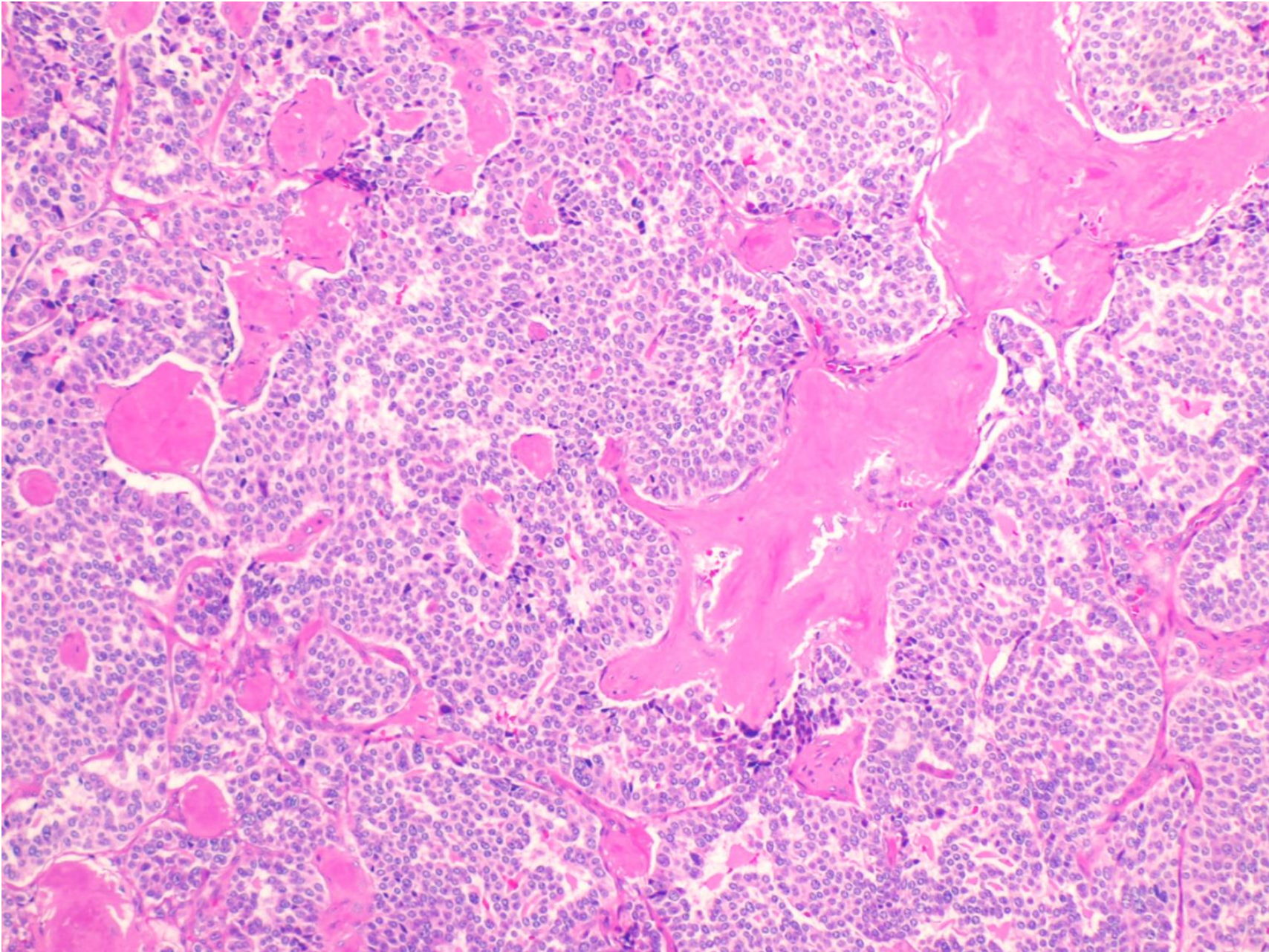


**Pap stain  
× 100**

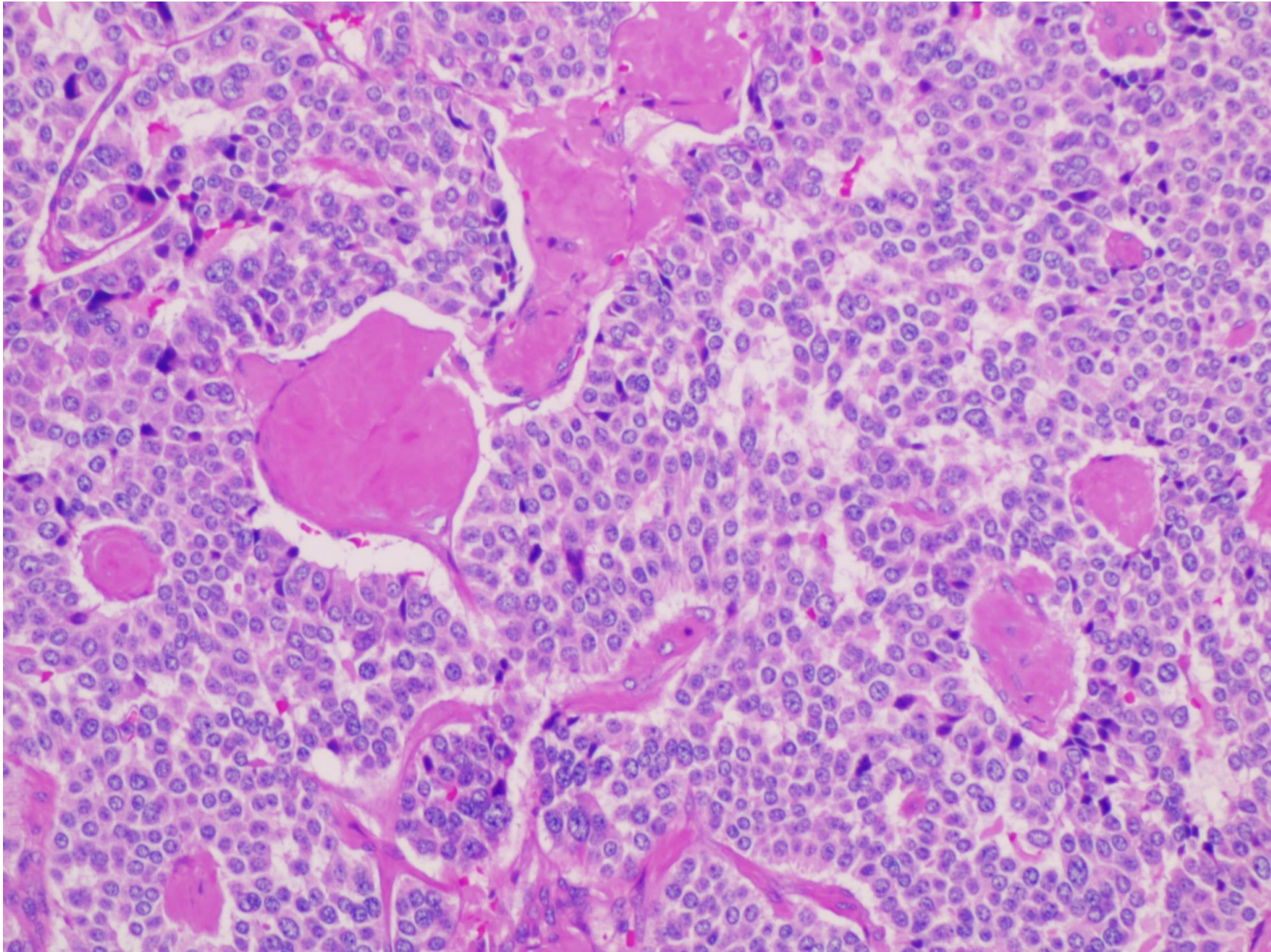
# 細胞診断

## 【 悪性の疑い 】

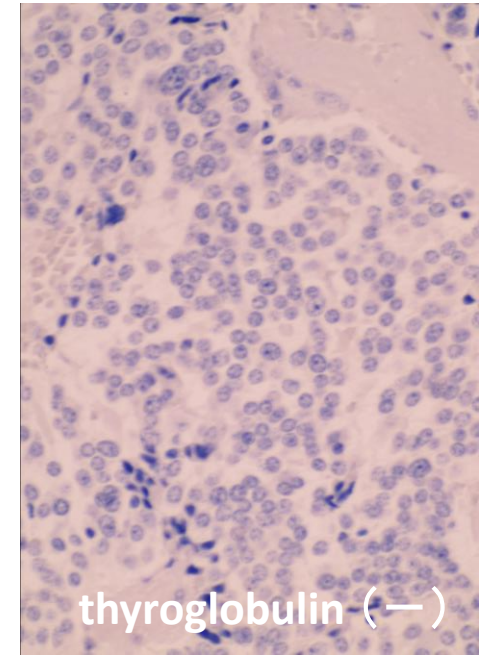
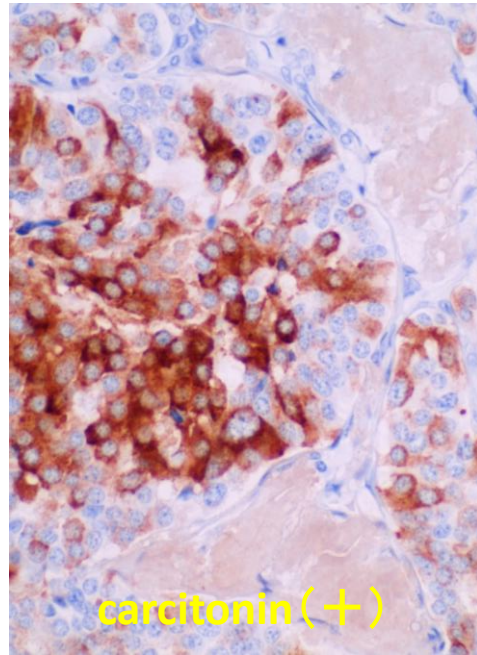
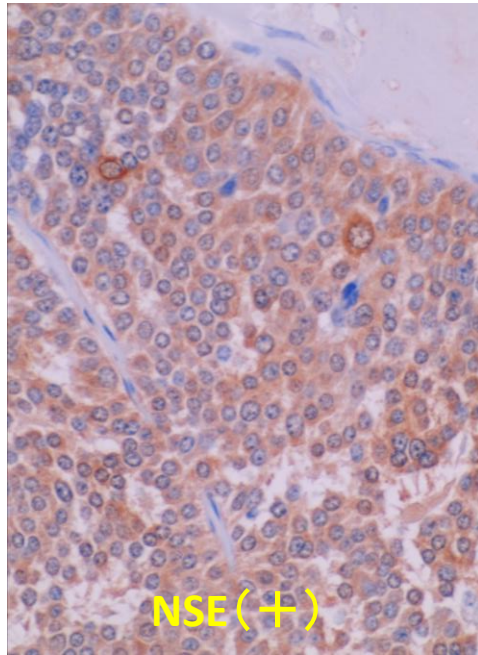
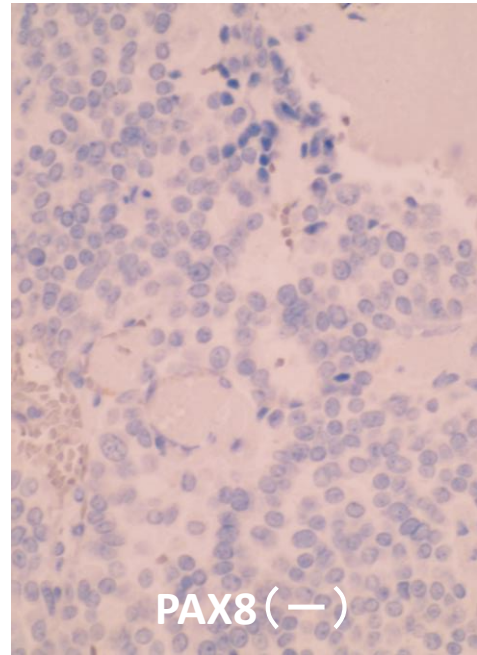
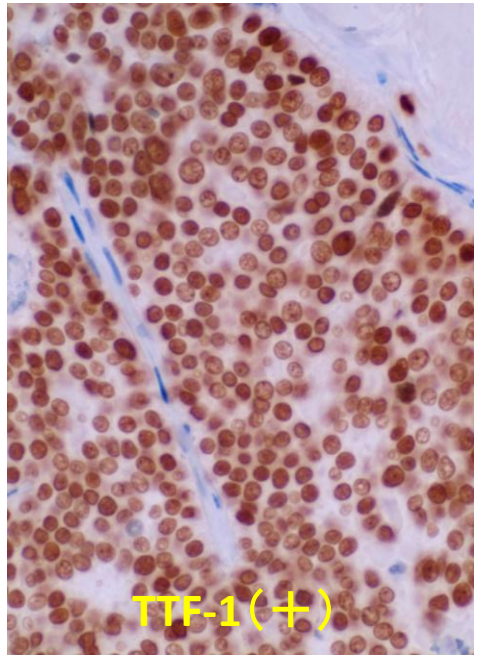
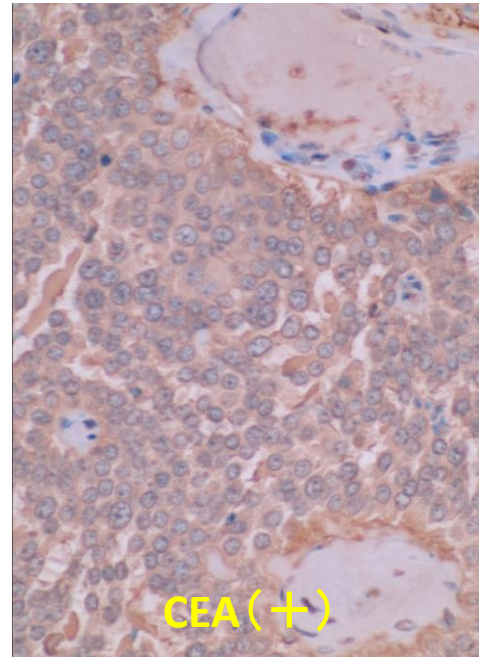
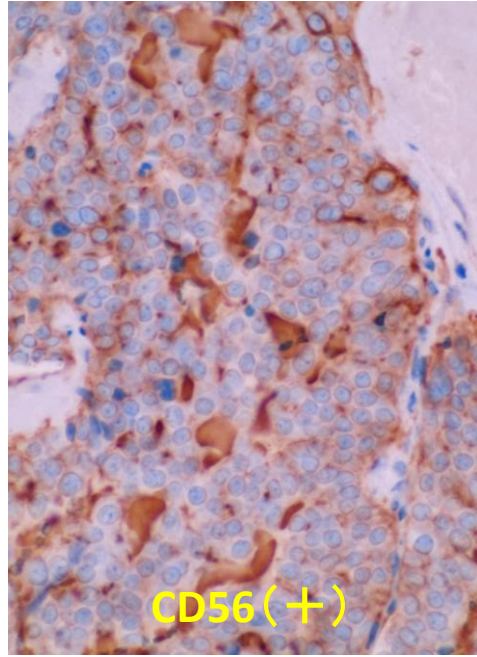
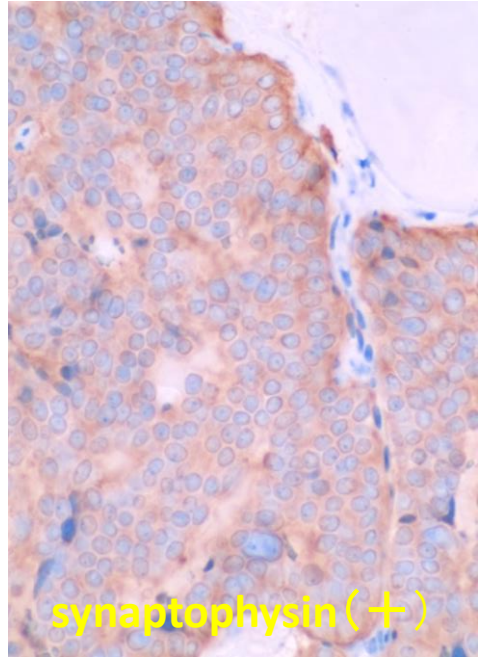
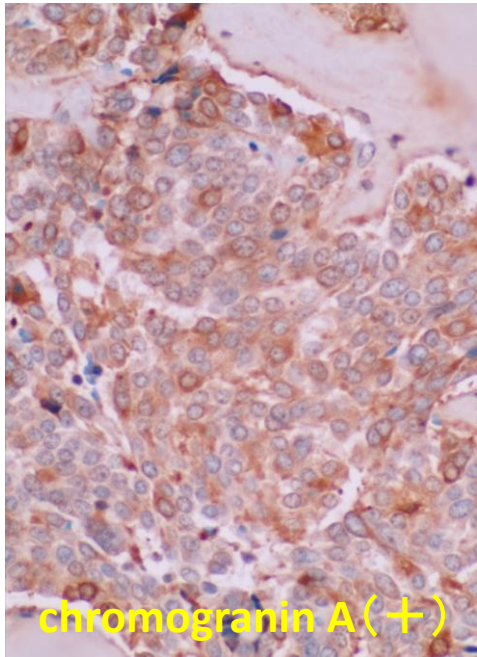
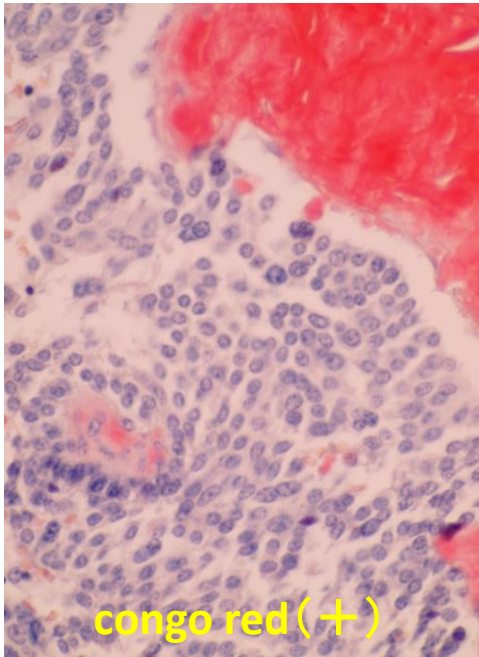
結合性の乏しい上皮細胞が集塊状～孤立散在性に多数採取されている。  
大部分は小型類円形核を呈しているが、一部大形核を認める。  
背景には無構造の基質が見られる。  
髄様癌や低分化癌を示唆する。



**HE stain**  
**× 10**



**HE stain**  
**× 20**

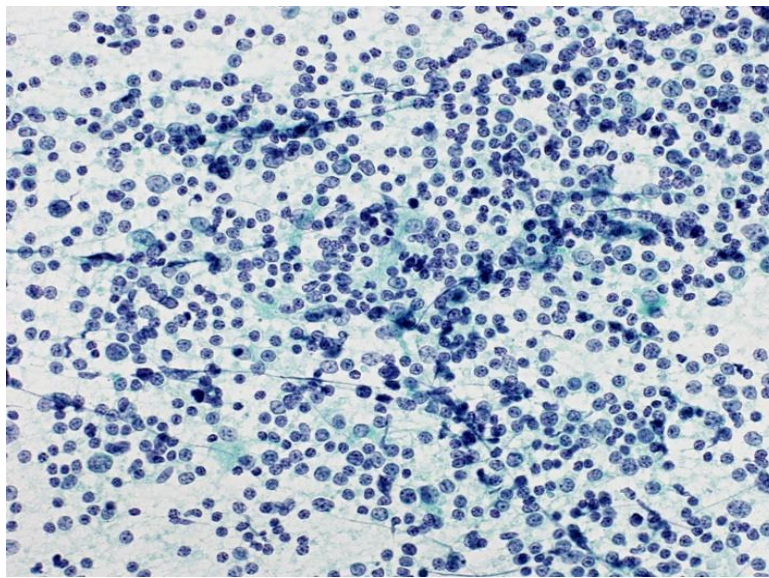
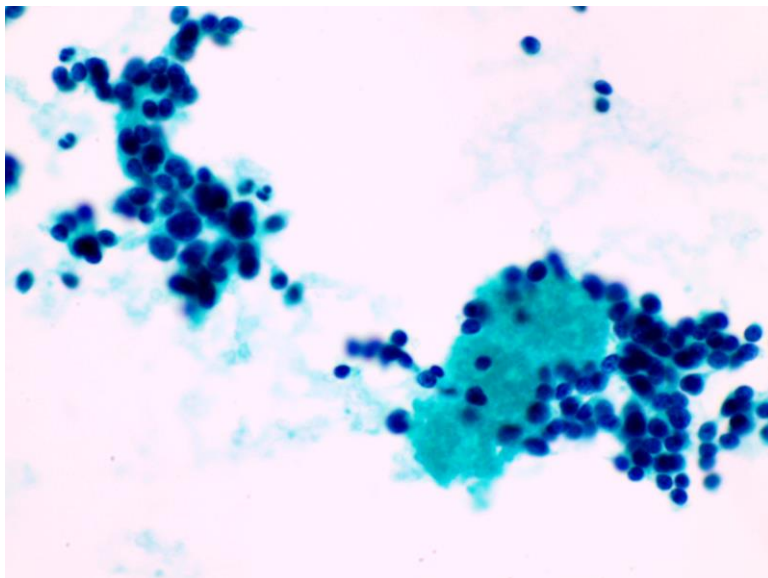
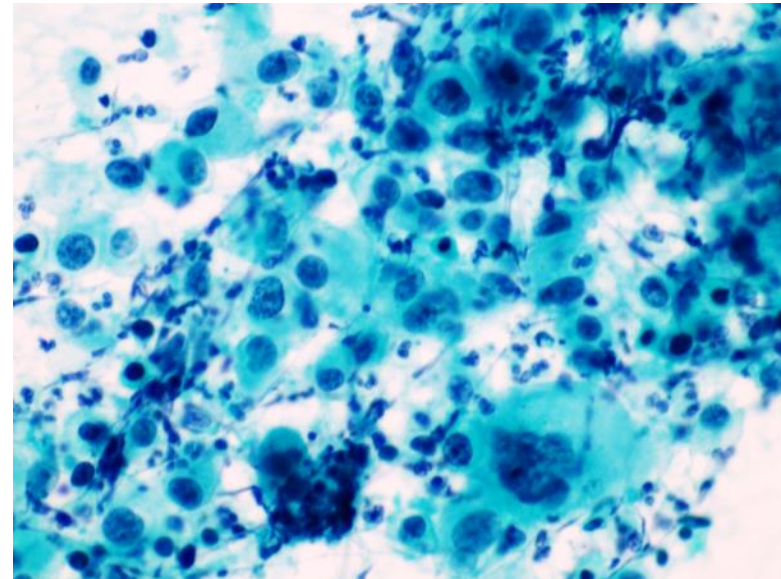
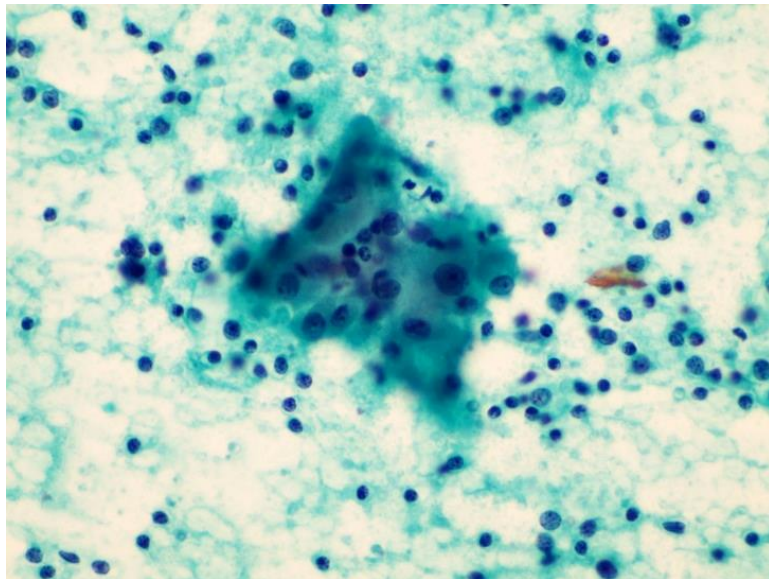
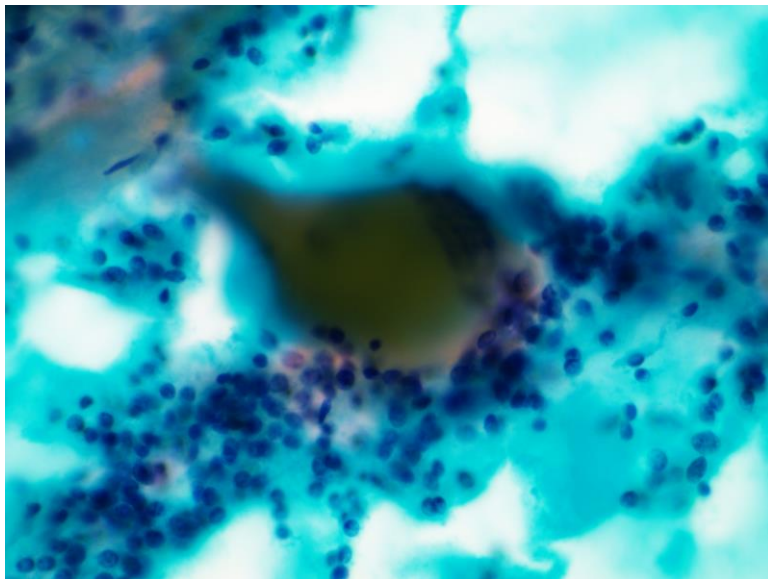


# 組織診断

## 【 Medullary carcinom 】

組織学的には全周囲に線維被膜で囲まれた病変で、粗顆粒状のクロマチンパターンを示す円形核乏しい両染色性顆粒状細胞質を持つ腫瘍細胞が、毛細血管や硝子様物質を背景に、充実・索状に増殖している。リボン様配列も示唆される。被膜浸潤が見られる。

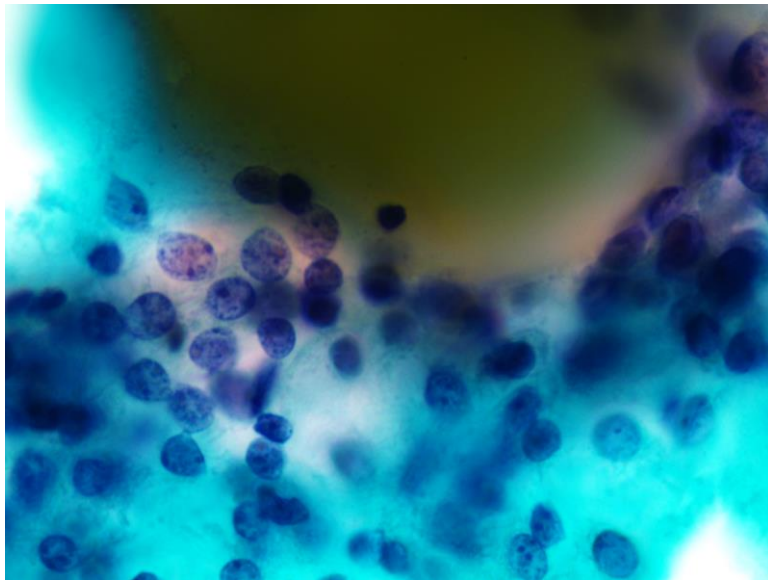
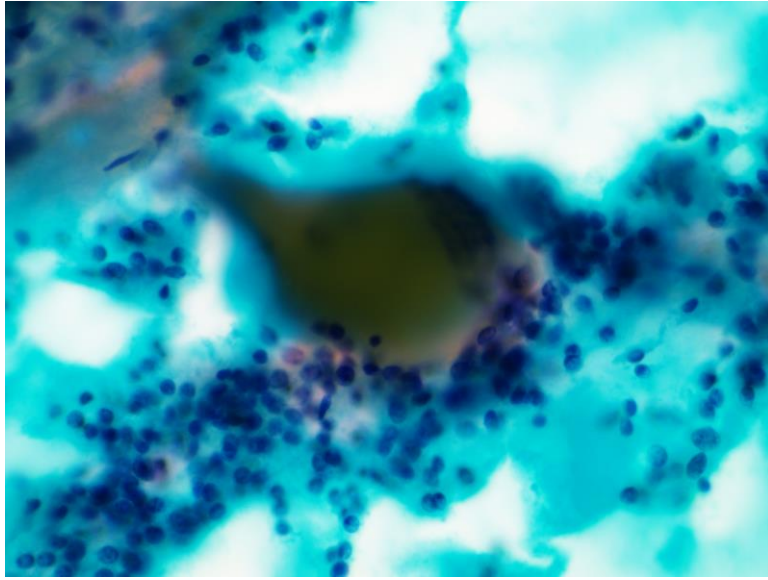
硝子様物質はコンゴーレッド(+)、酵素抗体法ではchromogranin A(+)、synaptophysin(+)、CD56(-)、CEA(+)、TTF-1(+)、PAX8(-)、NSE(+)、calcitonin(+)、thyroglobulin(-)



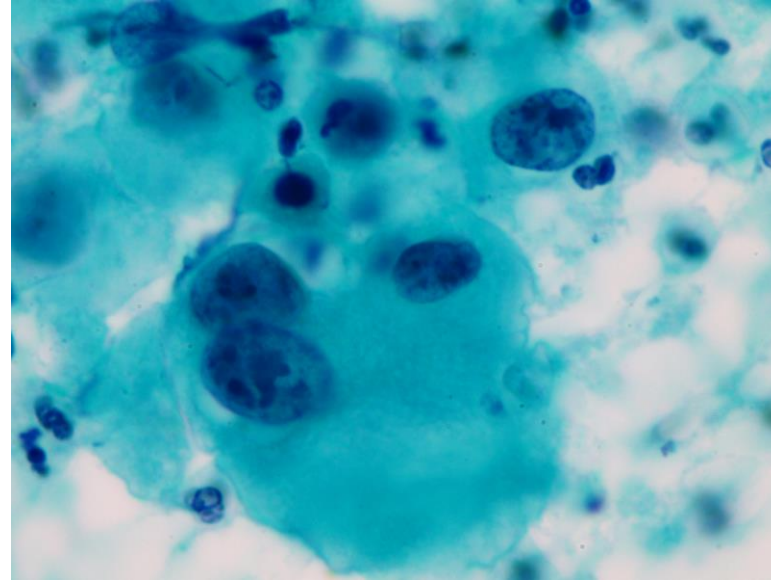
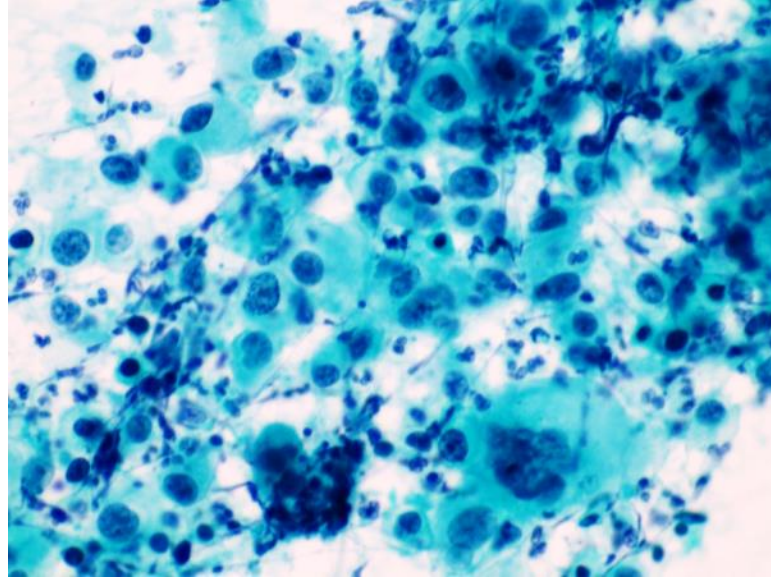
腺腫瘍様 甲状腺腫	慢性甲状腺炎	未分化癌
髄様癌	リンパ腫	

# 鑑別診斷

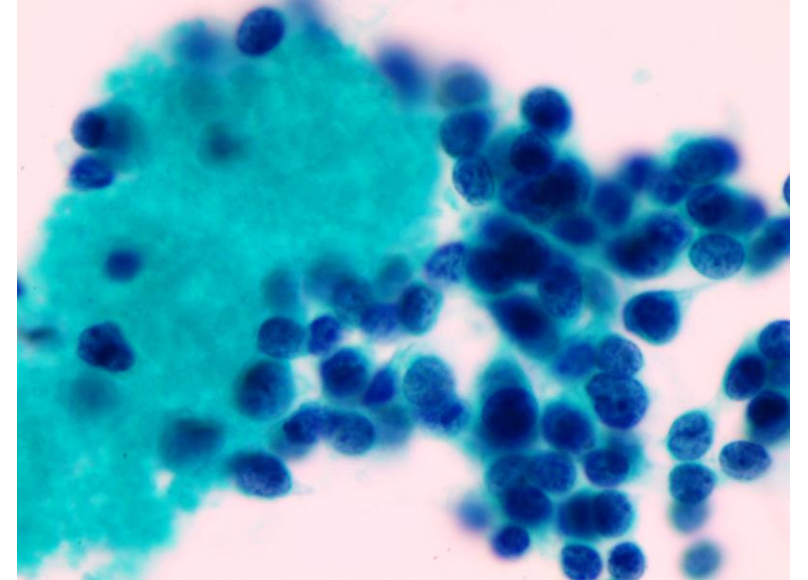
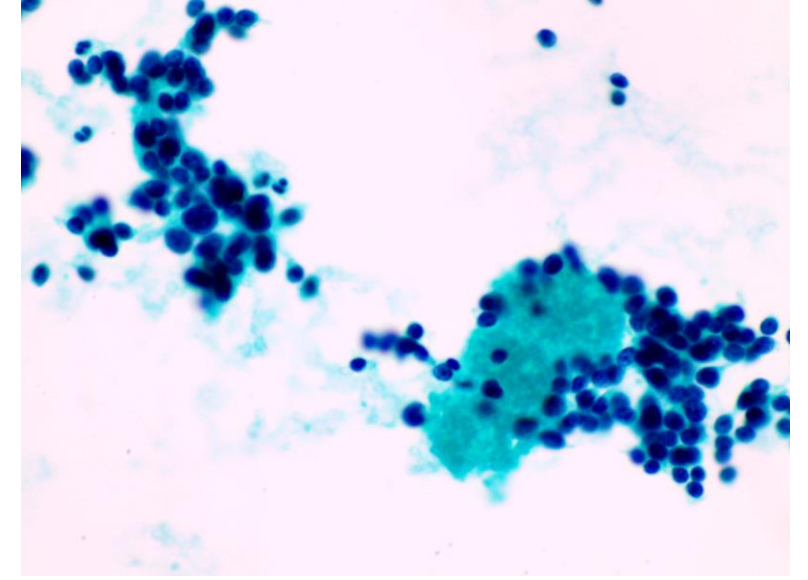
## 腺腫樣甲状腺腫



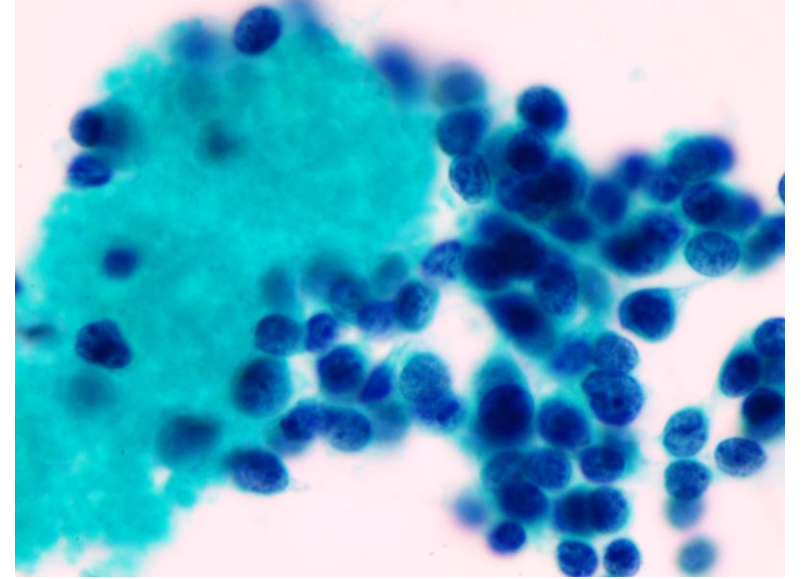
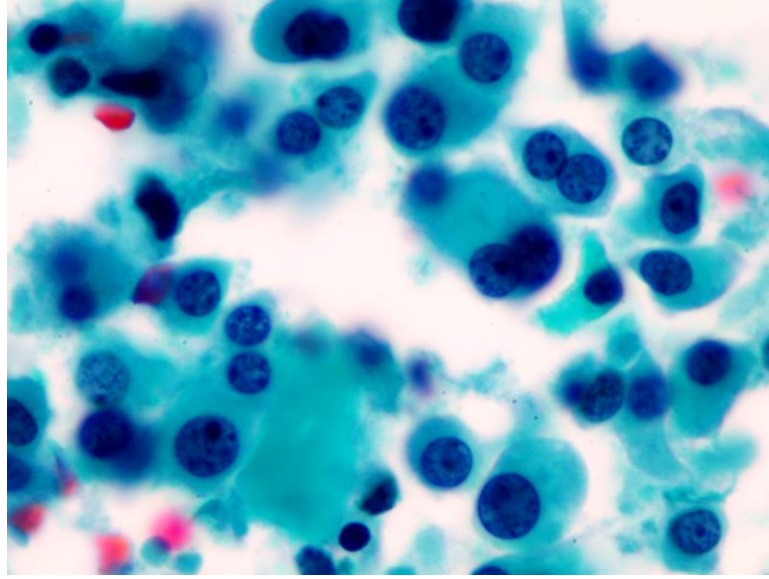
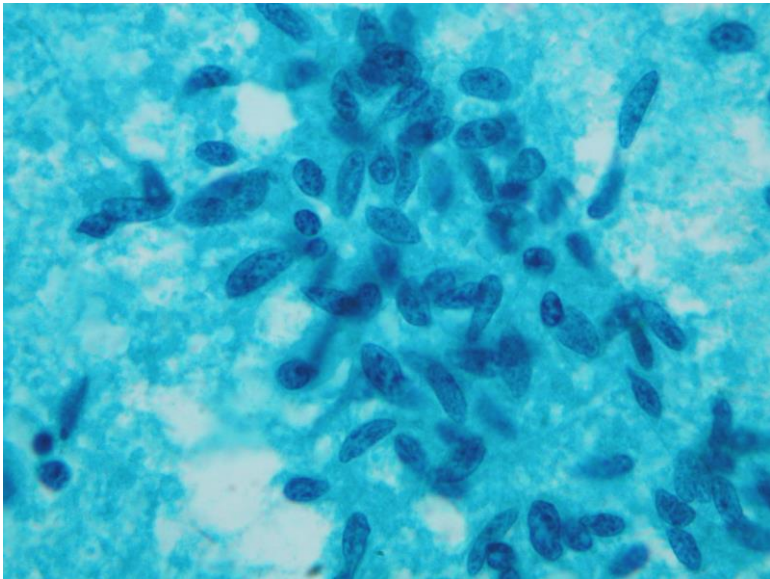
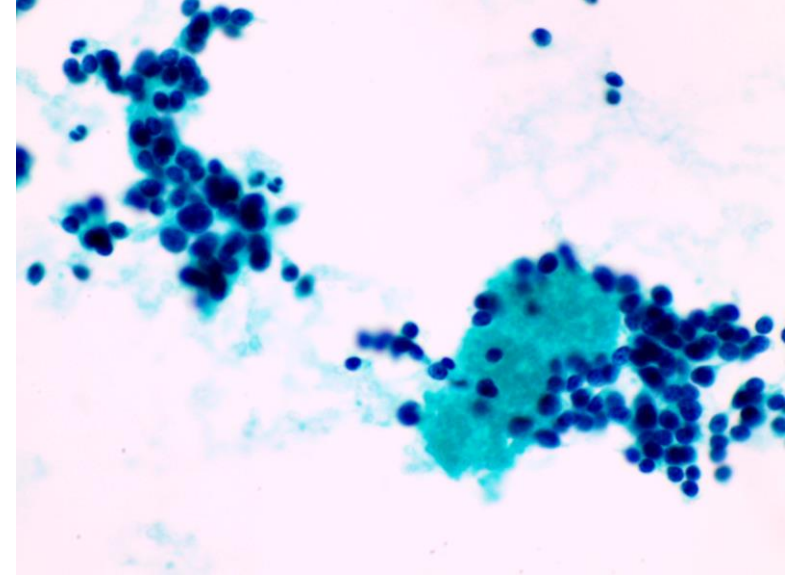
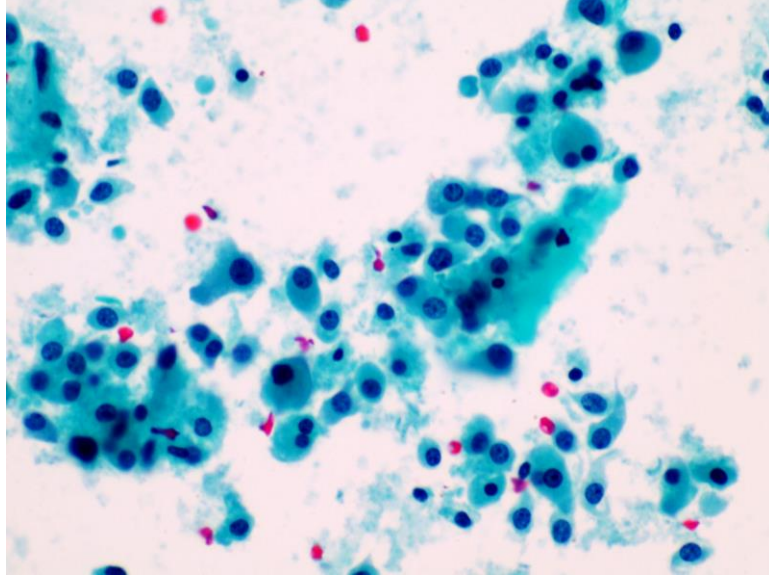
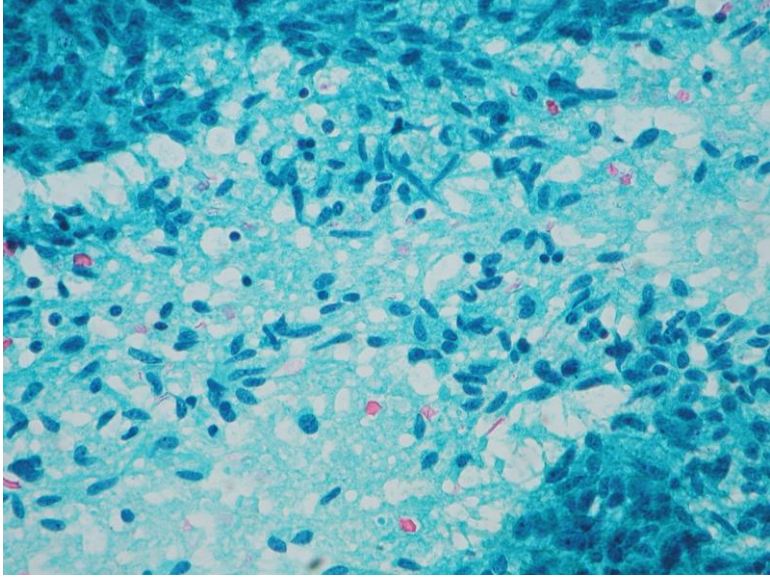
## 未分化癌



## 髓樣癌



# 髓様癌の細胞形態



# まとめ・ポイント

- 髓様癌はC細胞への分化を示し、カルシトニン分泌を特色とする上皮性悪性腫瘍。間質にはアミロイドを認める。
- 鑑別疾患として腺腫様甲状腺腫や未分化癌などがあげられる。
  - 腺腫様甲状腺腫：背景のコロイド・泡沫細胞の有無
  - 未分化癌：壊死物質の有無、細胞異型
- 髓様癌は神経内分泌系の疾患であり、単調性な細胞で構成される。また、細胞の形状は多様で、多稜形・類円形・紡錘形から小細胞から巨細胞などからなるものもある。